

国際交流のかけはし アジアの留学生が来町

8月18日から27日までの10日間、町国際交流協議会(佐藤茂会長)の主催による『第5回南ふらの国際交流のかけはし』が行われ、東京国際大学附属日本語学校と東京外語専門学校に在籍する3ヵ国6名の留学生が、協議会員6世帯にホームステイしながら南富良野の生活や文化に触れました。

留学生の国籍は、韓国、台湾、マレーシアで、台風の通過で施設見学など日程の一部が中止となったものの、滞在中に交流パーティーや学校訪問、自然体験などを通して町民との交流も深めました。

この事業は、(財)北海道国際交流センターの協力で留学生を招き、北海道の大自然や生活習慣、文化を学び、町民との交流から互いに国際理解と友好を深めようといわれているものです。



◀ 金山中学校では書写に挑戦しました

▶ 広大な農地と景観に感激する留学生



◀ 受け入れ家庭でカボチャの収穫

▶ 金山小学校の児童とジャガイモの収穫



◀ さよならパーティーでの盆踊り

▶ 空知川でラフティング体験

